

第46回日独スポーツ少年団同時交流
団員・指導者募集要項

公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団は、別紙実施要項(案)にもとづき、各道府県スポーツ少年団との協力により、第46回日独スポーツ少年団同時交流を実施する。

本交流は過去45回の交流の成果を踏まえ、団活動の活発化と団員・指導者の更なる資質の向上、地域間交流の促進を目的として行うものであり、日本代表としてふさわしい団員・指導者を下記により募集する。

1. 派遣期間

2019年7月31日(水)～8月17日(土) 16泊18日
日本団集合(結団式):7月30日(火)

2. 派遣先

ドイツ連邦共和国〔受入機関:ドイツスポーツユーゲント(dsj)〕

3. 主催

公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団
各道府県体育・スポーツ協会 各道府県スポーツ少年団

4. 募集人数

団員・指導者 計122名(団員110名、指導者12名)

5. 共通テーマ

「スポーツにおけるインクルージョン～みんなが参加できるスポーツとは?～」

6. 経費

派遣参加負担金 1人25万円

※ ドイツ滞在中の基本滞在費(宿泊費、食事代、施設入場料等)は上記負担金に含まれる。

※ 次のものは参加負担金に含まれず、個人負担となる。

- (1) 渡航手続き(パスポート 取得等)に要する経費
- (2) 居住地から事前研修会会場までの往復交通費
- (3) 居住地から結団式会場までと成田の空港から居住地までの交通費
- (4) 現地における各グループ内共通経費及び個人的諸費用

7. 応募資格

〔団員〕

以下の条件を全て満たし、道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者。

- (1) 平成30年度登録者で、平成31(2019)年度も引き続き登録が見込まれる者。
- (2) 1995年4月2日～2004年4月1日生まれ(派遣年度に16歳～24歳の誕生日を迎える者)の者。
- (3) 以下のいずれかに該当する者。
 - ① 日本スポーツ少年団シニア・リーダー認定者(平成30年度認定見込者を含む)
 - ② 所定の活動単位取得者(計20単位以上)
 - ③ 道府県スポーツ少年団本部長が特別に推薦する者(将来、所属道府県における日独同時交流受入をはじめとする国際交流に貢献する意欲があり、積極的に少年団活動に関わることが見込まれる者)

※ 当該グループの派遣人数枠を超える応募があった場合には、上記①、②、③の順位による優先順位も踏まえ、決定する。なお、本人の意向を確認したうえで、当該グループ以外の所属として決定することがある。

※ これまでに日本派遣団として参加実績のある団員についても参加を認める。

- (4) 将来、スポーツ少年団指導者として活躍が期待できる者。
- (5) 集団生活における規律を守ることができ心身強健で協調性のある者。
- (6) 英語または独語等を使い、積極的に現地でのコミュニケーションを図る意欲のある者。

[指導者]

以下の条件を満たし、道府県スポーツ少年団本部長が推薦する平成30年度登録指導者(役職員登録者含む)で、平成31(2019)年度も引き続き登録が見込まれる者。

- (1) 日本スポーツ少年団有資格指導者(認定育成員・認定員)であり、グループワークの経験と能力が豊かで、長期間における団員の引率指導が的確にできる者。
- (2) 国際交流において、日本の代表としてふさわしい人格・見識を有する者。
- (3) 英語または独語等を使い、積極的に現地でのコミュニケーションを図る意欲のある者。
- (4) 原則として65歳以下の者とする。なお、今後もスポーツ少年団指導者として活躍できる若手指導者が望ましい。

8. 提出書類

- (1) 推薦書・申込書(様式別添)
- (2) 作文

下記課題について指定用紙もしくは原稿用紙に1,600字程度でまとめること。

【団員】「日独同時交流で何を学ぶか、それを今後のスポーツ少年団活動にどのようにいかすか」

【指導者】「スポーツ少年団活動と日独同時交流経験の活用について」

9. 推薦期限

各道府県スポーツ少年団は、書類選考・面接試験等を経て派遣候補者を選び、来る2019年2月28日(木)【必着】までに推薦のこと。

10. 選考

日本スポーツ少年団にて、2019年3月中に提出書類による第1次選考を行い、さらに第2次選考を兼ねた事前研修会を【指導者】同年5月3日(金)～5日(日)、【団員】5月4日(土)～5日(日)に開催し、その後、派遣者を決定する

11. 選考結果通知

第1次選考結果は2019年4月上旬に、第2次選考結果については同年5月中旬に、それぞれ各道府県スポーツ少年団および本人宛に通知する。

12. 事前研修会

第1次選考による派遣内定者は、下記により開催する事前研修会に必ず参加のこと。なお、研修会の詳細日程および内容等については、第1次選考結果と併せて通知する。

【期間】 指導者：2019年5月3日(金)～5日(日) 2泊3日

団員：2019年5月4日(土)～5日(日) 1泊2日

【場所】 東京都/国立オリンピック記念青少年総合センター
〒151-0052 渋谷区代々木神園町3番1号

第46回日独スポーツ少年団同時交流

基本日程

<日本団派遣>

事前説明会

期日： 事前説明会 2019年5月3日(金) ～ 5日(日) ※5月3日(金) 13:00までに集合
4日(土) ～ 5日(日) ※5月4日(土) 9:30までに集合

会場： 国立オリンピック記念青少年総合センター (東京)

結団式

期日： 事前説明会 2019年7月30日(火) ※14:00までに集合

会場： 国立オリンピック記念青少年総合センター (東京)

出国(成田空港)

期日： 2019年7月31日(水)

帰国(成田空港)

期日： 2019年8月17日(土)

発第 号
平成 年 月 日

公益財団法人日本スポーツ協会
日本スポーツ少年団
本部長 坂本 祐之輔 殿

スポーツ少年団

本部長 _____ 印

第46回日独スポーツ少年団同時交流日本団団員・指導者の推薦について

標記の件について、別添申込書類の通り団員・指導者を推薦いたします。

記

団員 _____ 名 (男 _____ 名、女 _____ 名)

指導者 _____ 名 (男 _____ 名、女 _____ 名)

第46回日独スポーツ少年団同時交流 日本団団員・指導者推薦者一覧

<団員>

県内 推薦 順位	氏名	区分 ※1 (申込区分を○で囲む)	派遣経験 ※2 (該当する番号を ○で囲む)	面接所見
1		シ・単・特 取得単位→(単位)	1. なし 2. 第 回参加	
2		シ・単・特 取得単位→(単位)	1. なし 2. 第 回参加	
3		シ・単・特 取得単位→(単位)	1. なし 2. 第 回参加	
4		シ・単・特 取得単位→(単位)	1. なし 2. 第 回参加	
5		シ・単・特 取得単位→(単位)	1. なし 2. 第 回参加	
6		シ・単・特 取得単位→(単位)	1. なし 2. 第 回参加	
7		シ・単・特 取得単位→(単位)	1. なし 2. 第 回参加	
8		シ・単・特 取得単位→(単位)	1. なし 2. 第 回参加	
9		シ・単・特 取得単位→(単位)	1. なし 2. 第 回参加	
10		シ・単・特 取得単位→(単位)	1. なし 2. 第 回参加	
11		シ・単・特 取得単位→(単位)	1. なし 2. 第 回参加	
12		シ・単・特 取得単位→(単位)	1. なし 2. 第 回参加	

※1区分・・・シ:シニア・リーダー資格保有者(もしくは認定見込者) 単:活動単位制 特:本部長特別推薦
活動単位制、本部長特別推薦の場合は()の中に別表に定める取得単位数を記入。

※2派遣経験・・・初めての参加:「1.なし」に○を、過去に派遣団として訪独したことがある:「2.」に○をし参加回数を記入。

<指導者>

氏名	面接所見

「公益財団法人日本スポーツ協会 倫理規程」 抜粋

(遵守事項)

- 第4条 役職員等及び登録者等は、暴力、各種ハラスメント（セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等）、差別、試合の不正操作、違法賭博、ドーピング、薬物乱用（大麻、麻薬、覚醒剤等）等の違法行為や、スポーツの健全性及び高潔性を損ねるような社会規範に照らして不適切な行為を絶対に行ってはならない。
2. 役職員等及び登録者等は、個人の名誉を重んじ、プライバシーに配慮しなければならない。
 3. 役職員等及び登録者等は、日常の行動について公私の別を明らかにし、職務やその地位を利用して自己の利益を図ることや斡旋・強要をしてはならない。
 4. 役職員等及び登録者等は、補助金、助成金等の経理処理に関し、公益法人会計基準及び補助先、助成先等が指定する経理処理要項等に基づく適正な処理を行い、決して他の目的の流用や不正行為を行ってはならない。
 5. 役職員等及び登録者等は、自らの社会的な立場を認識して、常に自らを厳しく律し、本会の信頼を確保するよう責任ある行動を取らなければならない。
 6. 役職員等及び登録者等は、社会の秩序に脅威を与える反社会的勢力と一切の関係を持つてはならない。

第46回日独スポーツ少年団同時交流日本団 申込書〔団員用〕

フリガナ				男・女	西暦	年	月	日生	所属道府県		
氏名					年齢	歳	※2019年4月1日時点				
身長	cm			体重	kg			血液型	型		
フリガナ									TEL(自宅)		
現住所	〒(-)								TEL(携帯)		
									E-mail (PCのみ)		
フリガナ											
本人宛文書等送付先	〒(-)										
学校名(勤務先)及び見込 ※2019年4月1日時点	[会社名]			高校・大学・専学	学部	学科 ()		年在学中 卒業見込・卒業・入学見込			
保護者氏名	本人との続柄: ()歳			派遣時の緊急連絡先	※緊急連絡先が左記の保護者ではない場合のみ記入 本人との続柄: TEL:						
	保護者住所								〒(-)		TEL:
所属スポーツ少年団	スポーツ少年団			団登録番号							
団員活動歴	年	活動種目					団における役割				
現在の活動状況											
派遣区分 (いずれかに○)	シニア保有	西暦 年3月認定 認定番号 (_ _ S _ _ _)									
	シニア認定見込	西暦 2019 年3月認定見込									
	活動単位制	単位 (取得単位内訳を別紙活動単位確認表へ記入すること)									
	本部長特別推薦	一特別推薦書を記入すること。また、取得単位があれば確認表も併せて記入すること。									
日独同時交流参加経験 (派遣・民泊引受・同行)	<派遣>										
	西暦 年(第 回)同時交流参加										
	<受入>										
	西暦 年 (本人・家族)					西暦 年 (本人・家族)					
西暦 年 (本人・家族)					西暦 年 (本人・家族)						
得意なスポーツ、趣味、特技(具体的に)											
英会話	1. 良くできる 2. できる 3. 少しできる 4. できない				独会話	1. 良くできる 2. できる 3. 少しできる 4. できない					
海外渡航歴								パスポート保有の有無	有・無		
※所属団指導者の推薦	(推薦理由)										
※所属市区町村スポーツ少年団本部長推薦	スポーツ少年団							本部長		印	
別紙「公益財団法人日本スポーツ協会 倫理規定」抜粋の記載内容を理解し、遵守することを誓約の上、第46回日独スポーツ少年団同時交流への参加を申し込みます。								年 月 日		本人氏名	印
								※保護者氏名		印	
										パスポートサイズ 写真貼付 (3.5cm×4.5cm) 裏面にボールペンで 道府県名と氏名記入	

(注1) ※印以外は、申込者本人が記入のこと。

(注2) 本会およびドイツ側受入団体より、急速重要な情報を連絡する場合がございますので、可能な限り、PCのEメールアドレス(フリーアドレス可)を取得し、本申込書記入欄にご記載いただきますようお願いいたします。

(注3) 申込書記載の個人情報、事業実施に必要な事項及び諸連絡に利用します。なお、氏名・性別・所属県・所属スポーツ少年団・得意なスポーツ・趣味・特技は、報告書等へ掲載します。また、この個人情報は、公益財団法人日本スポーツ協会が管理し、法令により開示を求められた場合を除き、参加者の同意なしに第三者へ開示・提供することはありません。

(注4) 交流期間中に撮影した写真等については、プログラム、報告書、また「公益財団法人日本スポーツ協会」および「都道府県体育・スポーツ協会」のホームページ等に利用することがあります。

活動単位数確認表

道府県名: 申込者氏名:

【派遣資格に係わる活動単位】

活動内容	単位数	参加	参加年 取得年	詳細(役割など)	開催地
1 全国スポーツ少年大会参加	5				
2 ブロックスポーツ少年大会参加	5				
3 スポーツ少年大会(全国・ブロック・都道府県)、競技交流大会(全国・ブロック・都道府県)、ジュニア・リーダースクールへの運営係員としての参加	5				
4 ジュニア・リーダー認定者	10			認定番号: -J-	
5 都道府県リーダー会役員経験年数1年以上	10				
6 ブロックリーダー研究会参加	5				
7 日独スポーツ少年団国際交流事業受入経験者 ※過去5年以内の参加のみ可	20				
8 認定員・認定育成員資格保有者	20			認定番号: N・K	
合計単位数					

※複数参加している場合は、それぞれ単位を与えることとする。

※7.「日独スポーツ少年団国際交流事業受入経験者」とは、平成25年度以降に日本スポーツ少年団が主催したドイツスポーツユースとの国際交流の受入事業において、受入プログラムの運営および民泊受け入れ等を行った実績を持ち、所属道府県スポーツ少年団本部長が特に認めた者とする。

活動単位数確認表(記入例)

道府県名: 申込者氏名:

【派遣資格に係わる活動単位】

	活動内容	単位数	参加	参加年 取得年	詳細(役割など)	開催地
1	全国スポーツ少年大会参加	5	○	2015	第53回大阪大会	宮城県
2	ブロックスポーツ少年大会参加	5				
3	スポーツ少年大会(全国・ブロック・都道府県)、競技別交流大会(全国・ブロック・都道府県)、ジュニア・リーダースクールへの運営係員としての参加	5	○	2014	第37回全国スポーツ少年団剣道交流大会運営係員	埼玉県
4	ジュニア・リーダー認定者	10	○	2011	認定番号: ××-J-××××××	
5	都道府県リーダー会役員経験年数1年以上	10				
6	ブロックリーダー研究会参加	5				
7	日独スポーツ少年団国際交流事業受入経験者 ※過去5年以内の参加のみ可	20	○	2015	第42回同時交流受入プログラム企画・帯同、民泊受け入れ	
8	認定員・認定育成員資格保有者	20			認定番号: N・K	
合計単位数		40				

※複数参加している場合は、それぞれ単位を与えることとする。

※7.「日独スポーツ少年団国際交流事業受入経験者」とは、平成25年度以内に日本スポーツ少年団が主催したドイツスポーツユースリーグとの国際交流の受入事業において、受入プログラムの運営および民泊受け入れ等を行った実績を持ち、所属道府県スポーツ少年団本部長が特に認めた者とする。

第46回日独スポーツ少年団同時交流
所属道府県本部長特別推薦 推薦書

日本スポーツ少年団
本部長 坂本 祐之輔 殿

下記により、第46回日独スポーツ少年団同時交流への参加を特別に推薦いたします。

1. 推薦団員氏名 _____

2. 推薦理由

※推薦理由には、日独スポーツ少年団同時交流への参加を経て、今後所属道府県内で期待される役割等の内容を記載すること。

_____ 年 月 日

_____ スポーツ少年団

本部長 _____ 印

第46回日独スポーツ少年団同時交流日本団 申込書〔指導者用〕

フリガナ 氏名			男・女	西暦 年 月 日生 2019年4月1日時点での年齢 (歳)	所属 道府県	
身長	cm	体 重	kg	血 液 型	型	
フリガナ 現住所	〒 ()			TEL(自宅)		
				FAX(自宅)		
				TEL(携帯)		
				E-mail (PCのみ)		
職業 (勤務先)				TEL(勤務先)		
				FAX(勤務先)		
緊急 連絡先	氏名	(本人との続柄)				
	住所	〒 ()			TEL (自宅or携帯)	
文書等 送付先 住所	住所	〒 ()				
得意なスポーツ、趣味、特技(具体的に)				少年団での指導スポーツ		
英会話	1. 良くできる 2. できる 3. 少しできる 4. できない			独会話	1. 良くできる 2. できる 3. 少しできる 4. できない	
スポーツ 少年団 との 関係	認定資格番号	N・K	指導歴	年	指導団名	スポーツ少年団
	市区町村スポーツ少年団 における役割				道府県スポーツ少年団 における役割	
	スポーツ少年団での経歴 (研修会、講習会参加、大会引率等)					
	西暦 年		西暦 年			
	西暦 年		西暦 年			
	西暦 年		西暦 年			
資格	*公認スポーツ指導者資格 有・無 (資格の種類)					
交流歴 (ドイツ)	(派遣・受入、民泊引き受け、同行等)					
	西暦 年		西暦 年			
	西暦 年		西暦 年			
海外 渡航歴				パスポート保有の有無	有・無	
引率 心構え						
※	(推薦理由)					
市区町村 (道府県) 本部長の 推薦						
	スポーツ少年団 本部長					印
別紙「公益財団法人日本スポーツ協会 倫理規定」抜粋の記載内容を理解し、遵守することを誓約の上、第46回日独スポーツ少年団同時交流への参加を申し込みます。				パスポートサイズ 写真貼付 (3.5cm×4.5cm) 裏面にボールペンで 道府県名と氏名記入		
年 月 日				本人氏名 印		

(注1) ※印以外は、申込者本人が記入のこと。

(注2) 本会およびドイツ側受入団体より、急遽重要な情報を連絡する場合がございますので、可能な限り、PCのEメールアドレス(フリーアドレス可)を取得し、本申込書記入欄にご記載いただきますようお願いいたします。

(注3) 申込書記載の個人情報は、事業実施に必要な事項及び諸連絡に利用します。なお、氏名・性別・所属県・所属スポーツ少年団・得意なスポーツ・趣味・特技は、事業報告書へ掲載します。また、この個人情報は、公益財団法人日本スポーツ協会が管理し、法令になどにより開示を求められた場合を除き、参加者の同意なしに第三者へ開示・提供することはありません。

(注4) 交流期間中に撮影した写真等については、プログラム、報告書、また「公益財団法人日本スポーツ協会」および「都道府県体育・スポーツ協会」のホームページ等に利用することがあります。

